



令和3年度

多北高FRH通信 第10号

令和3年12月16日(木)

多北高FRH推進委員会  
探究推進部

## 『法曹への道』 ～法学部進学その先に～

12月9日木曜日、多北の先輩である籠橋美樹さんをお招きして、上記タイトルの講義・座談会を開きました。籠橋さんは名古屋大学の法科大学院に在学後、第72期司法修習生となられ、現在は名古屋で弁護士事務所に所属して活躍されています。当日は、前半が3年生対象の座談会、後半が1、2年生対象の講義と質疑応答でした。籠橋さんにはこのところ毎年講座をお願いしていますが、着々と人生のステージを進めておられるため、毎年違ったお話が聞かれています。

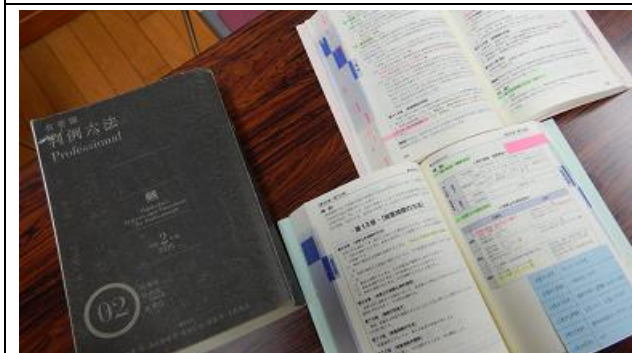
### 講座のようす



3年生との座談会



1、2年生への講義



判例六法と受験用テキスト



個別質問のようす

### 参加生徒の感想

★私は法学部についてまったく知識がなかったので、そういう進路もあるのだということ、実際に話を聞いて実感することができ、まなぶことができた。実際の試験問題を見て、文章を読み取る力やイメージする力、理論を組み立て文章にする力などが必要だと思った。

★法学部に進学したいと考えているため、参加しました。弁護士の方から細かいところまで聞くことができたので、今までにない知識が増え、進路の道が開けたと思う。

★法学部に興味があって、参加しました。緊急事態宣言やレジ袋の有料化なども、元からある法律

や改定した法律を基にして決められていたなど、自分が今まで知らなかったことを知ることができ、とてもよかったです。

★法学関係を目指そうと考えています。このような講座に参加するのは初めてだったが、学ぶことが多く、非常に有意義な時間にすることができた。これからの自分の将来に、役立てたいと思う。

★現役の弁護士の方のお話が聞けて、とても勉強になりました。今回の講師の方は、明確な目標があったので、まず自分もはっきりとした目標を見つけるところから始めようと、思いました。

★まず、あの難しいと言われている司法試験に、たった2回で合格している籠橋先生が、本当にすごいと感じた。一番前の席で本物の弁護士バッジを見た時の衝撃は、本当にすごかった。内容についても、とても為になる講座であったし、何よりはるかに遠い夢だと思っていた法曹の仕事を、多北高出身の方がしておられるということに、「自分でも頑張れば、なれるのではないか。」という思いにつながったと思う。